

# 平成27年度活動報告



札幌水源の森づくり2015



野幌森林づくり塾2015



森づくり活動発表会



みんなで森林づくり

林野庁 北海道森林管理局

石狩地域森林ふれあい推進センター

# 目 次



## 1年間のあゆみ（平成27年度）

### 自然再生・生物多様性の推進

1 市民参加の「札幌水源の森づくり」活動に対する支援	1
・ 札幌水源の森林づくり2015	1
・ 地域のもりから学ぶ森林づくり	2
2 野幌森林公園における野幌プロジェクトの展開	3
・ 団体型森林づくり	3
・ みんなで森林づくり／野幌森林づくり塾	3
・ 外来種対策／野幌自然環境モニタリング	4
・ 市民団体等との連携による生物多様性関連情報の収集	5

### 森林環境教育の推進

・ 教育機関による生物多様性への支援	5
・ 市民団体が実施する勉強会への支援	5



## 石狩地域森林ふれあい推進センターの取組

当センターの主な活動区域は、都市近郊の丘陵森林、山岳林等の豊富な森林資源と多様な森林景観に恵まれた国有林です。

ここでは森林の保健休養的利用の増加や、平成16年の台風18号による風倒被害の発生等を背景に、市民の皆さんが森林とのふれあい、森林づくりへの参加などについて関心が高まっています。こうした状況を踏まえ、平成27年度は次のような取り組みを実施しました。

札幌市内を流れる豊平川の上流・源流部の定山溪の国有林については、水源林として重要な役割を果たしているほか、ボランティア団体等の活動の場や森林環境教育の場として利用がみられるなど、市民とのかかわりが深い地域になっており、この貴重な水源林を、国民の森林として次代へ引き継いでいくため、「札幌水源の森づくり2015」を開催しました。

また、この取り組みの一環として、地域に根ざした取り組み「地域のもりから学ぶ森林づくり」を開催し、定山溪国有林の調査・森林観察、生態系を学ぶ活動を市民参加で行いました。

平成16年の台風により約77haに及び風倒被害を受けた野幌森林公園において、「野幌の100年前の原始性が感じられる自然林」を目指した森林づくりの「野幌森林再生プロジェクト」を平成17年度より開始し、市民の皆さんと協働・連携した取り組みとして、「団体型森林づくり」、「みんなで森林づくり」、「野幌森林づくり塾」を行いました。また、森林再生の過程を検証するため「野幌自然環境モニタリング」を10年間、継続実施しています。

さらに、当センターの活動として、定山溪国有林及び野幌森林公園等で、様々な民間団体等からの要請に応じ、講演や助言などの支援活動を行っています。



# 1年間のあゆみ（平成27年度）

## 自然再生・生物多様性保全の推進

自然再生、森林の整備・保全等に自主的に取り組むNPO等及び教育関係者の支援要請に対応することとし、台風等によって生じたギャップ箇所（上木のない開放空間）における森林の再生、森林の有する水源かん養機能等の公益的機能の普及啓発、良好な自然環境が現存する天然林の植生保護等について、関係機関等と連携しつつ取り組んでいます。

### 1. 市民参加型の「札幌水源の森づくり」活動等に対する支援

定山溪の国有林「水源の森」は、札幌市民約190万人の生活を支える水道水の水源として、おいしい水を育む重要な役割を果たしています。札幌市やボランティア団体等と連携し、多くの市民の皆さんの参加を得て、この「水源の森」を貴重な財産として守り育て、次代へ引き継ぐこととしています。

#### 札幌水源の森づくり2015

##### H27.07.1（水）昨年まで植栽した水源の森の下刈作業

これまでの「札幌水源の森づくり」では、制作した「カミネッコ」苗木を、石狩森林管理署と「北ぐにの森づくりサークル」との間で協定を結んでいる「社会貢献の森」として定山溪国有林に植栽してきましたが、その植栽地の下刈作業を、サークルとの連携により実施しました。



市民参加のポット苗作成



暑い時期の下刈作業

##### H27.08.29（土）札幌市の中心街で市民参加によるポット苗木づくり

札幌市の中心、創成川公園・狸二条広場を会場に札幌市（みどりの推進課・水道局）との共同主催、森林ボランティア団体「北ぐにの森づくりサークル」、「平岡楡の会」、「NTTタウンページ（株）」等との連携により開催しました。市内外から400人余りが訪れ、再生ダンボール紙でつくる「カミネッコ」（東三郎北大名誉教授の考案）を使用してトドマツ、ミズナラ、ヤチダモの苗木で、「水源の森」現地に植栽するポット苗木づくりをしました。



狸二条広場でカミネッコづくり

##### H27.10.03（土）定山溪国有林内でポット苗木を植栽

定山溪の国有林内に創成川公園・狸二条広場で作ったポット苗木を札幌市（みどりの推進課・水道局）、「北ぐにの森づくりサークル」、「NTTタウンページ（株）」、「NPOシーズネット」の皆さんなど総勢41名で植栽しました。



苗木を定山溪に植栽しました

## 地域のもりから学ぶ森林づくり

札幌市民の水瓶、定山溪国有林で地域に根ざした取り組みとして、「地域のもりから学ぶ森林づくり」を実施、森林の調査観察、生物多様性などを学ぶ活動を市民参加で行いました。

### H27.05.11（月）第1回「森林教室」を開催

定山溪中学校の生徒が、旧スキー場跡の国有林で、カタクリ、エゾエンゴサクなど身近な植物の種類・数を調査し、生物多様性を感じるよう取り組みました。また、近年エゾシカの被害が定山溪にも見られるようになったことから、その実態調査にも取り組みました。

### H27.06.03（水）第2回「森林教室」を開催

定山溪小学校の5・6年生を対象に校内で、空中写真を実体鏡という機械を使って立体的に森林を観察し、定山溪の森について学びました。また、森林の様子を見て木がないところに木を植えるため、カミネッコンの苗木づくりにも取り組みました。

### H27.07.22（水）第3回「森林教室」を開催

定山溪中学校の生徒を対象に「定山溪の森林を知る・森林を育む」をテーマに、これまで植栽・下刈などを行ってきた定山溪国有林2115林班の現地で枝打ち作業で汗を流した後、平成22年から植栽したきた樹木の成長量調査を行いました。

### H27.09.14（月）第4回「森林教室」を開催

定山溪中学校で5年前から、奥定山溪の森林で採取した広葉樹のタネから育てていたミズナラやエゾマツ苗木でカミネッコンを作り、定山溪国有林2115林班の森林へ帰すこととしました。

当日は、みんなでバスに乗り現地へ向かいましたが、バス内ではセンター職員が、森林が二酸化炭素を固定して温室効果ガスを減らし、地球温暖化を防いでいることを学び、現地に着いてポット苗木を植栽した後は、また来年カミネッコンを作るための、天然に発生した稚幼樹の採取も行いました。

### H28.02.25（木）「森づくり活動発表会」で森林教室の報告やNPO団体の発表

森林環境教育を取り入れている小学校・中学校と国有林内で森林整備活動を行っているNPO団体との意見交換・交流を行うことによりお互いの活動の活性化を推進するための場をつくりました。この発表会では当センターが森林教室の報告を行い、各団体から活動の発表と定山溪中学校から自分たちの体験から発見したことや、学んだことについて発表がありました。

発表後は、「もりを観る、学ぶ、育む」をテーマにパネルディスカッションを行い、全参加者が森づくりに取り組む確認ができました。



エゾシカに皮を食べられました



わあー、写真が浮き上がった



枝打ちは、私にまかせてください



どれだけ大きくなったかな



所長の司会でパネルディスカッション

## 2 野幌森林公園における野幌森林再生プロジェクトの展開

台風18号で被害を受けた野幌の森林を、100年前の原始性が感じられる自然林に再生するため、NPO等広く市民の皆さんの参加を呼びかけ、野幌の豊かな自然のすばらしさ、森林に関する理解の醸成や、市民の皆さんとの協働による森林づくりに努め、「野幌森林再生プロジェクト」を平成17年度から取り組んでいます。

### 団体型の森林づくり

森林づくりの協定を締結したNPO、大学、企業等9団体が植栽、保育等について計画的、継続的に取り組んでいます。当センターでは、団体の皆さんに対して様々な支援をしています。



野幌森クラブの活動を支援

### H28.02.19（金）野幌森林再生活動連絡会

北海道森林管理局において「団体型森林づくり」に参加する9団体のうち7団体の皆さんと、空知総合振興局及び北海道博物館のオブザーバーの方々が参加し、平成27年度の活動状況等の意見交換を行いました。意見交換では、各団体から①育樹の進め方、②次世代へ引き継いでいくこと、③下草刈りの手法などについて意見があり、当センターが、今後も団体の活動を支援していくことを確認いたしました。



野幌森林再生活動連絡会

### みんなで森林づくり

団体（学校含む）や個人等広く市民の皆さんに参加していただき、植栽、保育等の森林づくりに取り組んでいます。

### H27.06.17（水）「みんなで森林づくり」

毎年、北海道博物館近くの国有林で実施しています。今年は、18名の参加があり、「NPO法人北広島森林ボランティア・メイプル」の会員の方の指導のもと、保育（下刈）を行いました。暑い時期の作業でしたが、給水をとりながら、ハチ刺されなどの事故もなく、無事、作業を終えました。



メイプル会長の指導で下刈挑戦に

### 野幌森林づくり塾

森づくり作業の経験者を対象に、森林づくりに関する知識の習得と森林づくり体験をしながら、森林と人とのかわり等についての理解を深め、将来的には自主的なボランティア活動の展開につながることを期待し、これまでの内容をリニューアルして、3回開催しました。

### H27.06.27（土）第1回 野幌森林づくり塾

野幌森林公園の歴史について、地域史研究家 西田秀子さんを講師に森林と人との関わりをテーマに講義をいただきました。午後は、フィールドワークとして、昭和11年に昭和天皇が歩いたコースを逆にたどり、旧北海道林木育種場までの森林散策をしながら、明治初期から様々な人々が野幌に関わってきた歴史を学びました。



西田秀子さんのお話

## H27.08.01（土）第2回 野幌森林づくり塾

森林に植える苗木について勉強するため、林木育種センター主任研究員の矢野慶介さんを講師に、日本の造林の歴史から始まり、最近の苗木の品種開発・改良の話などをされました。午後は、育種場構内の展示林でアカエゾマツ、ヤナギやカラマツなどの品種開発の実物を見学して、普段体験することのない林業種苗の知識を学ぶことができました。



品種開発の苗木を見学

## H27.10.17（土）第3回 野幌森林づくり塾

野幌の菌類についての知識を深めることを目的として、藻岩山きのご観察会理事長の中田洋子さんを講師に、森林の中で菌類が果たしている役割について講義をいただきました。午後は、塾生で50種以上のキノコのサンプルを採取し、きのこ検定2級アドバイザーの官澤静雄さんの鑑定のもと、キノコの名前を覚えることができました。



塾生が集めたキノコの数々

## 外来種対策

ニセアカシアについては、平成20年3月、平成22年3月に伐採した母樹の萌芽発生状況等の観察を行っています。また、再生活動地には特定外来生物のオオハンゴンソウが生育しているので、これら外来種の除去に着手しているNPO団体を支援し、7月5日に実施された除去作業に参加しました。



軽トラック一杯のオオハンゴンソウ

## 野幌自然環境モニタリング

森林の回復状況を生態系として把握するために、学識経験者からなる「野幌自然環境モニタリング検討会」の指導の下、植生、歩行性甲虫、菌類及び野生動物の4項目からなるモニタリング調査を実施しています。

## H27.10.27（火）第21回「野幌自然環境モニタリング検討会」

森林再生活動地などでの現地検討後、野幌自然公園ふれあい交流館において、今年度調査結果の状況と今後の課題、報告会の開催等について検討を行いました。



検討会委員の現地検討

## H28.02.09（火）第22回「野幌自然環境モニタリング検討会」

平成27年度モニタリングの調査結果の分析と、平成28年度モニタリング調査の進め方などについて検討を行いました。

なお、動物調査の自動撮影装置については、当センターの取り組みとして職員実行で、6月、10月の各2週間設置し、撮影データをモニタリング検討会に提供しています。



自動撮影装置に写ったキタキツネ

## 市民団体等との連携による生物多様性関連情報の収集

当センターでは、森林教室などの企画のお手伝いや、森林に関する講演会・勉強会の支援を行います。また、自然観察会や森づくりなどのイベントの直接指導などに加え、各種試験研究機関との連携、協力への活動にも取り組んでいます。

### H27.06.04（木）、10.05（月）サルメンエビネ調査

野幌国有林に生育している希少種のサルメンエビネは、生態については不明な部分が多いことから、2010年から北海道立総合研究機構環境科学センター研究主幹の西川洋子さんが調査・研究を続けており、当センターがその活動を支援・協力しています。



人工林内のサルメンエビネを調査

### H28.03.12（土）第30回クマゲラ調査、公開フォーラムの参加

天然記念物のクマゲラは、北海道と本州北部のみに生息する日本最大のキツツキです。野幌では30年前から野幌森林公園を守る会が、市民ボランティアによる年1回の一斉生息数調査を続けており、当センターからも調査に参加しています。30周年の節目となる今回は、クマゲラの置かれた現状や課題を確認するためのフォーラムも開かれました。



クマゲラについてのフォーラム

## 森林環境教育の推進

### 小中学校などの森林教室への支援

#### H27.06.23（火）、06.25（木）森林教室へ講師派遣

千歳市立泉沢小学校が石狩森林管理署と「遊々の森」協定を結び、「かがやきの森」で活動していますが、当センターとしても森林教室に講師を派遣して支援しています。今年は、4年生の測樹体験と5年生の森の探索に協力しました。生徒の皆さんは、森林教室の体験を通じて、森林の役割や大切さについて学び、考える機会になっています。



生徒さんみんな輝いています

### 市民等を対象とした森林ガイドなど

#### H27.10.03（土）水源の森植付参加者を森林に案内

水源の森づくり活動の植付作業で、爽やかに汗を流した市民参加者の方々を、付近の定山溪国有林に案内し、秋の日の森林浴を楽しみ、クマゲラの食痕や植物の観察などを行いました。



クマゲラの食痕は大きいね



秋のさっぽろ湖

---

案内図



---

お問い合わせはこちらまで

林野庁 北海道森林管理局 石狩地域森林ふれあい推進センター  
064-0809 札幌市中央区南9条西23丁目1番10号  
TEL 011-533-6741 FAX 011-533-6743  
ホームページ [http://www.rinya.maff.go.jp/hokkaido/isikari\\_fc/](http://www.rinya.maff.go.jp/hokkaido/isikari_fc/)  
E-mail [h\\_ishikari\\_f@maff.go.jp](mailto:h_ishikari_f@maff.go.jp)